



季刊



↑最新情報は
こちらから！

KIDS お城ニュース

第3号

令和2年3月発行

お問合せ先

島原城築城400年記念事業実行委員会

(島原市しまばら観光おもてなし課内)

0957-63-1111 (内線216)



昭和37年頃の航空写真

注目情報！

島原城の記録を後世に伝承するため、島原城や城下町の「古写真や絵図」を探しています。

- 募集期間 令和6年3月31日まで
- 応募・問い合わせ先
島原城築城400年記念事業実行委員会

島原城や島原市の歴史について、島原市役所ホームページで情報発信中！「ふるさと再発見～島原城の話と島原の歴史～」を読んで、島原城に
くわしくなろう！



しまばらじょうてんしゅ めいじ ねん
島原城天守は明治9年（1876）に
な だれ み むかし
無くなりました。誰も見たことがない、昔の
てんしゅ しまばらじょう じょうか まち ようす さく
天守や島原城、城下町の様子を探るた
め、古い写真や絵図を集めるプロジェクト
がスタートします。

みな うち てんしゅ やぐら ふっこう
皆さんのお家に、天守や櫓が復興され
まえ しょうわ ねん まえ しゃしん
る前（昭和39年より前）の写真はありませ
んか。おとうさん、かあさん、おじいちゃん、
おばあちゃんに聞いて、さがしてみよう！

しまばらじょう 島原城 400 年の歴史

しまばらじょう まつくらしげまさこう げん な ねん
島原城は 松倉重政公が元和4年（1618）から7年をかけて築いた城です。城は松倉氏・高力氏・
まつだいらし と だし まつだいらし と し だい ねんかん きよじょう
松平氏・戸田氏・松平氏と4氏19代253年間の居城でしたが、めいじ ねん
明治7年（1874）に廃城となり、天守も
めいじ ねん と こわ
明治9年に取り壊されました。

しまばら
島原のシンボルであった島原城復活の熱意が高まり、昭和35年（1960）に「西の櫓」が復興され、その
ご てんしゅ たつみやぐら うしとらやぐら ふつこう
後、天守、巽櫓、丑寅櫓が復興されました。そして、へいせい ねん
平成30年（2018）に、しまばらじょうちくじょう ねん いわ
島原城築城400年をお祝い
する ねんかんの きねんじぎょう
7年間の記念事業がスタートしました。

島原城歴代城主と主な歴史	
一六〇六年（元和2年）	松倉重政（初代城主）入国 有馬氏の後を継いだ松倉重政は、「三城の制」にしたがって従来あった原城と日野江城を廃して島原城（別名・森岳城）の築城を開始する。
一六一八年（元和4年）	島原城築城に着工
一六二四年（寛永元年）	島原城完成
一六三〇年（寛永7年）	松倉勝家第二代城主となる 重政が急逝した後を受けて藩主となった勝家は、過酷な収奪を行って領民を苦しめ、厳しい年貢の取立てとキリシタン弾圧も重なり島原の乱が勃発したといわれている。
一六三七年（寛永14年）	島原の乱勃発
一六三八年（寛永15年）	高力忠房第三代城主となる 高力忠房は乱後で混乱していた島原の農民に神仏の信仰をすすめて人心の安定を図り、移住奨励など人口回復政策を採用して島原の復興に努めた。
一六五五年（明暦元年）	高力隆長第四代城主となる
一六六九年（寛文9年）	松平忠房第五代城主となる 松平家は九州の隠れ目付けといわれ外様大名の多い九州に打ち込まれたクサビとして幕府に重宝がられた文雅を愛でる武将として「松平文庫」を残している。
一六九八年（元禄11年）	松平忠雄第六代城主となる
一七三五年（享保20年）	松平忠親第七代城主となる
一七三八年（元文3年）	松平忠刻第八代城主となる
一七四九年（寛延2年）	松平忠祇第九代城主となる
一七四九年（寛延2年）	戸田忠盛第十代城主となる
一七五四年（宝暦4年）	戸田忠寛第十一代城主となる
一七七四年（安永3年）	松平忠恕第十二代城主となる
一七九二年（寛政4年）	雲仙普賢岳噴火（島原大変）
一七九二年（寛政4年）	松平忠馮第十三代城主となる 雲仙岳噴火による領民の救済のため、江戸幕府や領内外から寸志銀を集めた。また八ヶ口への増産で財政を立て直し藩財政の再建を目指した。
一八一一年（文政2年）	松平忠侯第十四代城主となる
一八四〇年（天保11年）	松平忠誠第十五代城主となる
一八四七年（弘化4年）	松平忠精第十六代城主となる
一八五九年（安政6年）	松平忠津第十七代城主となる
一八六〇年（万延元年）	松平忠愛第十八代城主となる
一八六二年（文久2年）	松平忠和第十九代城主となる
一八六七年（明治元年）	明治維新・江戸幕藩体制崩壊
一八七六年（明治9年）	島原城解体・撤去
一九六〇年（昭和35年）	島原城西の櫓復元
一九六四年（昭和39年）	島原城天守閣復元

年表出典：島原城築城400年記念事業古写真募集チラシ

しまばら

島原いろはカルタ

はついち あたら はる
初市に 新しい春 よみがえる

はついち はじ しまばらじょうちくじょう ろうどうしゃ ひら
初市の始まりは、島原城築城の労働者のために開かれた
いち しょうわ ねんだい おおてひろば かいさい
市である。昭和30年代までは大手広場で開催され、サーカスなども行われていた。

出典：榊原武之「郷土史入門 島原いろはカルタ」さかきばら郷土資料館
絵札：絵・松尾卓次、発行・森岳商店街

